

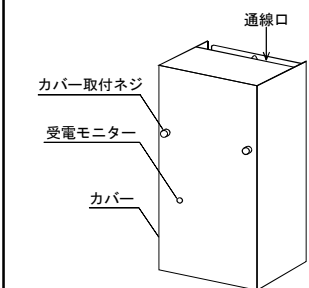
6A2回路パワーユニット

取扱説明書

仕様

- 入力電源 - 単相2線AC100V 50/60Hz切替え式
- 電源変動 - ±10%
- 周囲温度 - 0°C~45°C
- 湿度 - 10%~90% (結露なき事)
- 適合負荷 - 白熱電球、調光用LED 600wまで
調光用蛍光灯 40w×9灯まで
- 回路数 - 2回路
- 最大許容電流 - 6A×2回路
- 保護回路 - ガラス管ヒューズ交換式
- 回路ヒューズ - 10A×2、1A×1

外形図

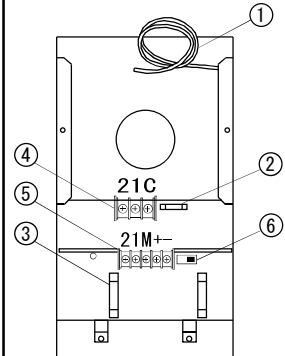


- 材質: SPC t0.8
- 寸法: W120/H220/D80(単位: mm)
- 重量: 約1.2Kg

附属部品

- ・ネジ 3本
- ・10Aヒューズ 1本
- ・1Aヒューズ 1本 (ミニタイプ)

接続方法



接続部		
①	AC電源 (R相又はT相)	
②	制御電源ヒューズ (1A×1)	
③	出力ヒューズ (10A×2)	
④	負荷端子台	
C	負荷線のコモン、及びAC電源(N相)	
1	回路1の負荷線	
2	回路2の負荷線	
⑤	制御端子台	
-	コントローラーの「-」	
+	コントローラーの「+」	
M	マスター※ (通常は使用しません。)	
1	回路1のアナログ入力端子	
2	回路2のアナログ入力端子	
⑥	電源周波数 (50/60Hz) 切替えスイッチ	
	■	=50Hz (スイッチ左側)
	■	=60Hz (スイッチ右側)

※本器の負荷を一括制御 (ON/OFF、調光) する信号を入力します。

接続時のご注意

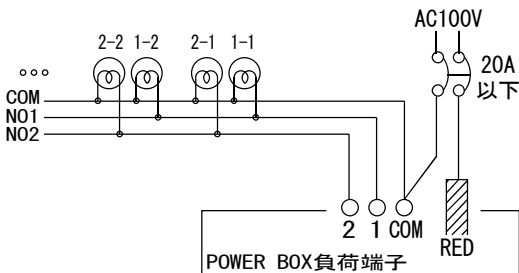
- 電源には必ず20A以下のブレーカーを使用して下さい。
- 電源は必ず単相三線式電源から分岐した単相二線式電源を供給して下さい。
- 切断した線材の破材が、基板や端子に触れたり残らないようにして下さい。
- 負荷はVVFケーブル等で接続し、負荷端子台に確実に取付けて下さい。
- 負荷は接続前に必ず点灯試験及び絶縁試験を行い、間違えなく接続して下さい。
- 配線時は接続例を参照し線種を確認の上、各端子台に確実に取付けて下さい。
- 銅鉄型調光用蛍光灯を接続する場合は、接続方法が異なるため接続図を参照して下さい。
- 下記コントローラー専用です。他の機器には接続しないで下さい。
8チャンネルコントローラ/24チャンネルコントローラ/音楽調光器/演出調光器/3ch手動調光器/6ch手動調光器/10ch手動調光器/多目的自動点滅器
- パワーユニットを複数台使用する場合は、1台ごとにAC電源を供給し、各制御端子台の「-」及び「+」をそれぞれ渡りをとって下さい。

使用上のご注意

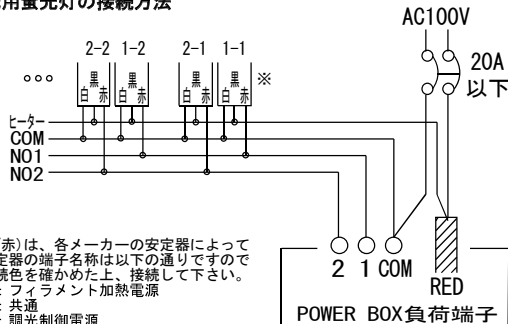
- ランプの交換の際はメインブレーカーをOFFにしてから行って下さい。
- 交換ランプは同容量のものを使用して下さい。
- 5W以下の電球は全て7Wで計算します。
- ダウントランス使用時は点滅スピードをやや遅めに使用して下さい。
- ヒューズ切れは容量オーバーです。電流容量は越えないで下さい。
- ご使用になる地域に合わせて、電源周波数 (50Hz/60Hz) を切り替えて下さい。

接続図

●白熱灯及びトランス負荷の接続方法

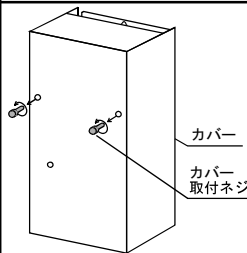


●銅鉄型調光用蛍光灯の接続方法



※接続色 (白/黒/赤) は、各メーカーの安定器によって異なります。安定器の端子名称は以下の通りですので各安定器の接続色を確かめた上、接続して下さい。
ヒューズ: フィラメント加熱電源
COM: 共通
NO1: 調光制御電源

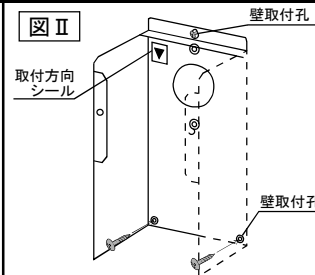
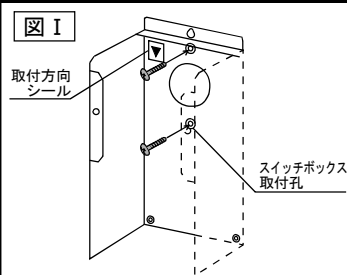
取付方法



・カバー取付ネジを外し、カバーを取り外します。

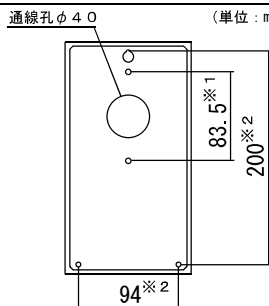
- 1個用スイッチボックス取付の場合
スイッチボックスの止め孔に2ヶ所をネジで止めて下さい。(図I)
壁開口寸法: W50/H85 (mm)

- 壁面取付の場合
壁取付孔3ヶ所を付属のネジ等で固定して下さい。(図II)



取付時のご注意

取付寸法図



- ※1) スイッチボックス取付寸法 (1個用スイッチボックス適合)
- ※2) 壁面取付寸法

- 本器は発熱しますので、風通しの良い場所へ取付けて下さい。
- 本器は縦型です。取付方向シールに従って取付けて下さい。
また壁面に取付ける際には、上下に20mm以上のスペースを開けて下さい。
- 分電盤に組み込む場合は、必ず上下に通気孔を設け空気を循環させて下さい。
- 湿気・油気・塩気・硫黄分等のない屋内に設置して下さい。
- 取付け場所は、交換や各種のアフターサービスの行きやすい所にして下さい。